

## 城山そば打ち同好会（つなぎ）

2012年1月城山そば打ち同好会「つなぎ」と銘打ち発足して、早10年が経ちました。会員の目的は城山で美味しいそばを食べ、仲間とコミュニケーションをはかる事です。

参加者は、そばを打てるようになりたい人・そばのお供の天ぷらを作る人・食べるのみの人でそれぞれ目的は違います。その仲間が、毎月第四日曜日に城山公民館に集まり活動しています。

沼田の老神温泉で毎年行われている、素人そば打ち段位認定試験に平成25年度から7名の方が挑戦し有段者となりました。会のレベルも向上して、仕上がりの美しさは見事で、喉越しも最高です。

料理は天ぷらが主ですが、四季の食材を個々に持ち寄り、それらも天ぷらにして季節をも味わっています。また、つなぎのそばは会員の家族からとても人気があります。そば・天ぷら・そば汁をつけてのお持ち帰りで、すぐに家で味わうことが出来大好評です。

年行事としては夏の暑気払い、冬には忘年会を

実施しています。公民館の2階をお借りして、カラオケ・ギター弾き語り・隠し芸も飛び出します。最後には全員で美味しいそばをいただき閉会になります。

2021年度はコロナの発生で休会を余儀なくされました。22年度も再びオミクロン株の発生で休会を継続しています。早く今までのように、安心安全に皆さんとうまいそばを食べたいと願っています。

美味しいそばが食べたい方、自分で打ってみたい方、是非見学に来て下さい。お待ちしております。

開催日：毎月第4日曜日（伊藤 勇次）

時間：10：00～14：00

場所：城山公民館 実習室

5月現在は、コロナ禍で休会しています。



## 城山カラオケ愛好会

「城山カラオケ愛好会」は1988年（昭和63年）6月に発足し早や35年経過しました。

その間、先生・会員の行く人・来る人・戻る人、いろいろありましたが、現在は大石先生（1丁目在住）ご指導の下、会員28名（男性17名、女性11名）平均年齢は会の歴史同様に正直高いですが、歌い出すとなぜか低くなり、各会員、個性豊かに歌の道を楽しんでいます。年間の主な活動は、まず、課題曲の選定です。会員総意で2～3曲選び、先生が決定。課題曲（演歌主体）を2～3ヶ月掛けて仕上げます。この間、会員は事前に配布されたカラオケテープで自宅練習。教室では、先生が一小節単位で丁寧に手取り足取り、いや「口取り」で発声方法、歌の抑揚、息継ぎ、裏声、シャクリ、音の抜き方など模範歌唱。会員が個人指導を受けつつ続きます。この繰り返し練習で各人、課題曲をマスター、最終打ち上げは一人ひとり課題曲を独唱します。皆ベテラン揃いですので、飲み込み（歌い込み）は早いです。また年2回（暑気払い

と忘年会）練習の成果発表と懇親を兼ね、別途カラオケ会場を設け歌手続出の歌合戦を開催、青春を取り戻した様な、楽しいひと時です。2020年11月、城山公民館初の試みで各サークルの発表会がありました。カラオケ教室も先生以下全員参加、課題曲の練習と違い、各人の持ち歌（18番）発表なので、皆さん上手に歌いあげ、一発勝負に強いことに驚きました。カラオケは誤嚥防止、ボケ防止、ストレス解消など健康増進にも有効です。テレビを見ているあなた、歌の世界へ来ませんか？毎週水曜日の練習風景を見に来ませんか？お待ちしております。千里の道も一歩から（水前寺清子）。初心者歓迎です。（沼居 義）

活動：城山公民館2Fホール 毎週水曜日

13：30～15：30

